

令和2年第11回田原市教育委員会定例会

1 開会 令和2年11月12日 午後1時30分

2 閉会 令和2年11月12日 午後2時40分

3 会議に出席した委員

鈴木欽也教育長、天野千栄子職務代理者、金田真也委員
太田孝雄委員、高崎佐智江委員

4 会議に欠席した委員

5 会議に出席した職員

教育部長

増山禎之

教育総務課長

伊藤英洋

学校教育課長

渡邊宏光

生涯学習課長

山田正勝

スポーツ課長

粕谷幸充

文化財課長

天野敏規

中央図書館長

是住久美子

教育総務課主査

彦坂幸子

6 議事日程

別紙のとおり

田原市教育委員会第11回定例会議事日程

日 時 令和2年11月12日（木）

午後1時30分

場 所 北庁舎2階 200会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 議 題

- (1) 令和2年度一般会計教育費補正予算について
- (2) 市議会提出案件（伊良湖岬小学校新築工事請負契約の変更）に対する意見について

3 報告事項

- (1) 教育委員連絡報告事項
- (2) 小中学校への寄附について
- (3) 令和3年度小中学校入学式等儀式の実施日について
- (4) 図書館雑誌スポンサー制度について

4 その他

開 会 午後 1 時30分

教育長

定刻になりましたので、始めさせていただきたいと思います。
本日は、何かとご多用のところ、ご出席くださりましてありがとうございます。
ただいまの出席者は、5名であります。定足数に達しておりますので、令和2年田原市教育委員会第11回定例会は成立いたしました。
これより開会いたします。

教育長

それでは、会議規則第13条第2項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。今回の署名者として、太田委員と高崎委員のご兩名を指名させていただきますので、よろしくお願いいたします。

教育長

それでは、議題に先立ち教育長報告をさせていただきます。
前回の定例会以降、私に関わったものを、いくつかご報告させていただきます。

10月17日、フルートとギターのデュオコンサートが田原文化会館で開催されました。開催について、生涯学習課のほうも悩んでいたのですが、何とかやれる範囲でやりましょうということで開かせていただいて、とてもいい音楽会ができました。いろいろな活動を市内でも、学校でも、全てなくしてしまうのではなくて、やれる形で何とか継続してやっていこうというような活動の一環でございます。

学校訪問も引き続き、また何校か行かせていただいております。

10月19日の東部中学校から何校かに行きましたが、特に10月20日の亀山小学校と、10月22日の六連小学校について触れさせていただきたいと思います。

亀山小学校は、今年が教育課題研究指定校の2年目で、研究発表の年でございます。それから六連小学校は、市の研究指定3年目で研究発表の年でございます。どちらもそれぞれ研究に取り組んでくれて、今年は研究の成果を問う、発表の年であるということでございます。

六連小学校については、研究発表会という形で何とか開催をすることができました。ただ、やはり授業公開は、子ども達にとって非常に不安であるということで、授業公開なしの全体会のみという形で行わせていただきました。

それから亀山小学校については、残念ながら研究発表会という公開はなくて、年が明けてから、3学期のいずれかの時期に、紙上で研究の成果を発表するという形にさせていただいております。

いずれの学校もとてもよい教育研究がなされており、小規模校ならではのよさを生かした教育活動が進んでいると感じました。

亀山小学校でいうと、以前から取り入れておりました縦割り活動を

中心にした、子ども達の心の交流を図りながら成長を目指し、自己肯定感であったり、自己有用感であったり、そういったものを子ども同士の交流の中から育てていくという、そういう研究活動でございました。子ども達が、低学年の子も高学年の子も、とてもよい表情で楽しそうに、学校生活をおくっていて、本当に研究の成果が、子どもに表れているなということを感じました。

六連小学校のほうは、学習指導のことで「見方・考え方」を働かせるための六連スタイルということで提案をしていて、こちらも学習を深めるという意味で、とてもよい成果が表れていたなということを感じました。

両校とも、目の前の子ども達の成長を願うということが研究の内容に表れていて、本当にすばらしい研究を行ってもらえていて、いつもと同じような発表会ができなかったのは、つくづく残念ではありましたが、学校としては、よい教育成果を上げているなと強く思った次第でございます。

それから、その2校以外にも学校訪問を何校かさせていただいて、いずれの学校も、コロナ禍の中でよく落ち着いて教育活動をやってくれておりました。それぞれの学校で、先ほどのコンサートの例ではないですが、いろいろなことを簡単に取りやめてしまうのではなくて、活動の在り方をよく見直しをして、どういう形ならできるのか、それから活動の目的をもう一度見直しをすることから、今まで当たり前に行っていたことをゼロから見直しをして、新たな光が見えてきたというようなところが多かったように思います。制約のある中での教育活動ではあるのですが、それぞれの学校が改革をするためのチャンスであるというような捉えをして、前向きに取り組んでいる、そのように受け取れて安心して帰ってきたところでございます。

10月27日、三河教育研究会の保健体育部会研修会が、田原文化会館でございまして、元中日ドラゴンズの山本昌投手の講演を聞くことができました。山本さんのこれまでの人生の中でのすばらしい恩人との出会いと、それからずっと継続していくことの大切さなど、ご自身のこれまでの経験を基にお話しをされて、とても興味深く聞くことができました。これは、保健体育の教員向けの研修会でございます。

11月6日、設楽町と田原市の姉妹都市提携30周年記念式典が設楽町でございまして、市長、副市長などとともに参加してきました。帰りに設楽ダムの工事現場の視察をしてきましたが、非常に大きな工事をやっていて驚きました。設楽ダムの水もこちらへ来るということで、実際のつながりもこれからもっともっと増えていき、また、山のほうがこれからはいろいろ大きく変わっていくのではないかなと、そんなことを感じました。

大きく何か転換をといるとなかなか難しいですし、そういった大きな事業を持ってくるというのもなかなかできないですが、田原市も何かそういった変革がこれからもあって、より元気が出てくるようなことになるといいのかなと、そんなようなことを思った次第でございます。

私の主な報告は以上とさせていただきます。

ただいまの報告につきまして何か質問等がございましたらお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

では、特にご質問の内容ですので、教育長報告事項を終わります。

教育長

それでは、これより議題に入ります。

初めに議案第33号「令和2年度一般会計教育費補正予算について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いします。

教育総務課長

教育総務課からご説明させていただきます。

令和2年度一般会計教育費補正予算について、令和2年度一般会計教育費補正予算については、別添によるものとする。本日提出の教育長名です。

今回の補正予算は、教育部として教育総務課と生涯学習課の2課で上げさせていただきましたが、先日、財政部局のヒアリングがありまして、数字が若干変わってきておりますので、それも併せてご説明いたします。

先に、生涯学習課のほうにつきましては、今回補正予算を上げましたが、ヒアリングにおいて、全てカットということで予算がつきませんでした。

次に教育総務課のほうですが、まずは小学校管理運営事業です。2ページの事業概要をご覧ください。今回、国のほうからの学校保健特別対策事業費補助金の第2弾ということで、感染症対策等の徹底を図るため、学習の保障に関して補正が組まれまして、田原市のほうも各学校への対策費として計上していきます。

今回、国への申請期間等が短かったこともあり、また、各学校からのこれまでの要望等の状況の中で、全校一律で、壁付の扇風機を、特別支援教室や特別教室等、主に特別教室ですが、そちらのほうに設置をしていくと決めました。その金額は、現在の伊良湖岬小学校を除く小学校17校で1,116万7,000円、そのうちの半額が国の補助となります。学校によって、台数が変わりますので、学校ごとの金額は違いますが、こちらを本年度中に整備をしていきます。

それから改修工事等につきまして、こちらについては変更がございます。

赤羽根小学校配膳室業務用冷蔵庫修繕ということで、冷蔵庫が故障

したための補正を組む予定でしたが、こちらにつきましては、今年度の教育総務課の残予算で対応するということですので、補正予算からは削られました。

その次に、令和3年度から神戸小学校に特別支援教室が必要な児童が入ってまいります。そのため、体育館へのスロープの整備のために227万7,000円。特別教室の間仕切り壁設置のため34万9,000円を計上しております。

田原中部小学校特別支援教室改修工事につきましては、こちらも特別支援学級が増えるということで、教室の間仕切り等で変更していく関係の改修工事です。その中で、当初は教室の後ろに、壁取付け型のロッカーを設置する予定でしたが、備品として設置型のロッカーにすることという指示がありまして、今回の改修工事額は、643万5,000円から85万円を減額になりまして、558万5,000円という予算計上となります。それに伴い、備品購入費にロッカー購入費として20万円をプラスでつけていただいております。

この小学校管理運営事業では総額1,957万8,000円を今回補正予算で組ませていただきます。

続いて、5ページ、赤羽根小学校管理運営事業です。備品購入費で10万円の補正予算を組ませていただきます。10月21日に地元の方から赤羽根小学校の食育推進のためということで寄附がございまして、包丁やまな板等の殺菌収納庫を購入するというので、寄附に伴います備品の購入という予算になります。

続きまして、8ページ、中学校管理運営事業です。こちらのほうも学校保健特別対策事業ということで、小学校管理運営事業と同様に感染症対策で壁付扇風機を取付けいたします。統合に伴う泉中学校を除く、東部中学校、田原中学校、赤羽根中学校、そして福江中学校の4校に対して整備をいたします。4校で511万5,000円。そのうちの2分の1が対策補助となります。

最後、11ページにございます田原中学校管理運営事業です。前回の定例会でご報告させていただきましたが、9月に50万円の寄附があり、そちらに伴うものです。こちらについては、理科実験用資材の購入にかかる費用を計上させていただくものです。

あと、歳入予算要求書もつけてございます。こちらは、先ほどからの小中学校の感染症対策に伴う国の補助金2分の1の歳入の計上。それから寄附金のほうの教育振興寄附金ということで、2件の寄附について歳入予算で組ませていただいております。

以上が議案第33号の説明となります。よろしく申し上げます。

予算をカットされてしまった生涯学習課のほうも、どんなものだったのか、概要だけ報告をお願いします。

市民館運営事業についてとなります。童浦校区の市民館に、空調設

教育長

生涯学習課長

備が4台ありまして、そのうち1台は既に改修をしてありますので、今回残りの3台につきまして、改修の要求をしました。設置が昭和62年ということで、もう既に30年以上経過しておりまして、30年以上になりますと部品もなくて、壊れたらこれで動かなくなるということになります。コロナ禍での運転ということもありまして、何とか今度の夏を迎えるまでには直してあげたいということで計上しましたが、残念ながら他にもたくさんそういった部分があるので、何とか上手に使ってくれということで、今回は予算がつかせませんでした。ただ、新年度予算でもう一度計上して、何とかつけていただくようにしたいと思っておりますので、ご報告にはなりますけど、よろしく願います。

教育長

事務局の説明が終わりました。

質問等ございますか。

太田委員

扇風機の件ですが、特別教室にはエアコンがつけてないということで、扇風機をつけるわけですが、スケジュールとして、令和3年1月から2月に設置とあります。冬の時期に、この扇風機をどのように使うのかなと思ひまして。冬の時期のコロナ対応というのは、すごく大切かつ難しいと思うのですが、その辺はどのようにお考えでしょうか。

教育総務課長

当初教育総務課としては、特別教室にも空調機を設置したいというのが本音だったのですが、見積りを取ったところ、とても補助額では負えない金額でした。ただ特別教室にはそういったものがないということで、冬場だとしても、感染症対策のための換気をするための機器だということで上げさせていただきました。換気用ということで、冬場としては空気の入替えというような対応でいきたいというようなものです。

太田委員

実際、教室では放課に窓を開けたときに、扇風機を回せば効果があるということですね。

教育総務課長

はい、そういう扱いでいきたいと思ひます。

太田委員

わかりました。

教育長

そのほか、いかがでしょうか。

金田委員

願ひします。

教育総務課長

扇風機の設置は、各学校にお任せするのでしょうか。

扇風機の設置は、各学校に何台つけるかという聞き取りをさせてもらってしまひて、それによって学校のほうで各業者さんに見積りを取ってもらってしまひます。その数字が今回示したのになります。学校のほうでやっていただくという理由は、やはりエアコンを入れたときと同時で、まとめて契約をしてしまひると、順番につけていくようになり2月までに設置ができないということになってはいけないので、学校のほうで、これまで空調を入れてもらっている業者さんを中心に、今回も契約していただければ、地元のほうへの経済効果もということでそういった対応をしたいと思ひてしまひます。

金田委員
教育長

わかりました。

そのほかいかがでしょうか。

では、そのほかにご質問もないようですので、お諮りいたします。

議案第33号「令和2年度一般会計教育費補正予算について」、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教育長

では、ご異議なしということで、議案第33号につきましては、原案どおり可決いたしました。

次に議案第34号「市議会提出案件（伊良湖岬小学校新築工事請負契約の変更）に対する意見について」を議題といたします。

事務局の説明をお願いいたします。

教育総務課長

お願いします。

議案第34号、市議会提出案件（伊良湖岬小学校新築工事請負契約書の変更）に対する意見について。

伊良湖岬小学校新築工事について、下記のとおり請負契約を変更するため、田原市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めることについて、意見を求める。本日提出、教育長名です。

その内容ですが、伊良湖岬小学校新築工事で、既に一般競争入札で2年前に契約を終えております。その契約金額が今回の変更になります。変更前が10億4,500万円のところ、変更後は10億7,372万9,800円ということで、2,872万9,800円の増額となります。契約の相手方には、変更ありません。

今回2,800万円余の増額になる工事変更の内容ですが、いくつかの工事関連があります。増額だけではなく、減額の部分もあるのですが、結果的に2,800万円ほど増えております。

主なところが、造成工事をする関係で、仕上高の変更で残土処理等の費用が増額しております。また、この本体工事に合わせまして、建物周辺の雨水排水の工事を施工するというものの増額。さらには児童が活動する場所の安全確保のために、タイルを貼り付けする予定のところを、ウッドデッキに変更し、下からの熱をシャットダウンするという、そういった形の素材等の変更での増額、それから砕石の数量の変更、また、地盤改良に伴う増額等があります。

逆に減額になるところでいきますと、中庭にみんなの広場というものが出来上がるのですが、その植栽スペースの縮小や、中庭の手洗い場の取りやめ等がございます。

さらには、資材の調達追加ということで、必要箇所に網戸を設置して、周りからの虫よけ等の対策もとるといったような、細かいところもありますが、そういった増減によって今回2,800万円ほどの増額の変更といったものになりますので、よろしくをお願いいたします。

教育長

以上です。
事務局の説明が終わりました。
ご質問等がございますでしょうか。

金田委員

しょうがないことなのかなと思うのですが、前回消費税が8%から10%に上がる時にも1回増額変更があって、それもやはり見積りを取っている時点で、増額になるということが分かっている2%追加されたというのが1点で、またこういったことがあると、自分としては、腑に落ちないところがあり、何がどうとか分からないですけれども、そんな印象があるので、ちょっと言わせいただきました。

教育総務課長

契約時に、半年後に消費税が10%に増額となるのが分かっているとしても、契約時の消費税率で契約ということになってしまうので、10月1日に10%になったところで変更契約というのが、これは致し方がないということです。

今回のものについては、確かに増減は出るのですが、結局本体工事を含めて、現場での調整が毎週のように工程会議をやっているものですから、その中で現場合わせ工事的なものもやはり出てくる。確かに金額も大きいし、総額が大きいので大変目立ってしまいますけど、こういった形で工事が進んでいくということで、ご了解いただきたいと思えます。

金田委員
教育長

ありがとうございます。消費税の辺りについても、納得できました。そのほかいかがでしょうか。

では、ほかにご質問もないようですのでお諮りいたします。

議案第34号「市議会提出案件（伊良湖岬小学校新築工事請負契約の変更）に対する意見について」、原案どおり可決することにご異議ございませんか。

（異議なし）

教育長

では、ご異議なしということで、議案第34号につきましては、原案どおり可決いたしました。

教育長

続いて、報告事項に入りたいと思えます。

それでは、教育委員の皆様方の連絡報告事項を、順次お願いいたします。

天野委員

天野委員からお願いいたします。

報告させていただきます。

10月22日、六連小学校の研究発表会に伺いました。六連小学校には、初めてお邪魔いたしました。

夏に学校訪問された高崎委員さんから、見ておくべきということのご報告がありましたものですから、行かせていただいたのですが、先ほども教育長も言われた、六連スタイルの単元づくりや授業づくりの先生方の工夫・学習指導のレベルの高さを、私でも感じさせていた

いただきました。

また、小規模校のよさを生かして、地域と連携したふるさと学習ですとか、隣の保育園児さんとの交流などもされていらっしゃるということで、とても楽しい発表を聞かせていただきました。

講演をしてくださった横浜国立大学の倉本先生のお話も、とても勉強になりました。この地域で当たり前だと思っていた、子どもありきの教育というのは、実は日本でも珍しく、唯一三河地方の独特のものであるということを教えていただきまして、実践していただいている先生方に「誇りを持ってください」というねぎらいの言葉をかけてくださっていました。私たちが、当たり前のように与えていただいている教育に、あらためて感謝しなければいけないなと思いました。

活動はここだけだったのですけれども、最近気になったことを、もう1点。近頃、小中学生の間でスケートボードが流行っているのかなと思うのですけれども、つい先日も畑におりまして、多分中学生ではないかなと思うのですけど、3人歩いていて、そのうちの2人の子が道路ですが、スケートボードに乗っておりました。うちの畑も渥美の消防署から福江高校に上がっていくちょうど中間ぐらいにあり、緩い上り坂になっているので、下りてくるのにいい感じに遊べるのかもしれないのですけど、ちょうど中腹の渥美支所に農協さんが入ったぐらいから、結構な交通量になっているものですから、私たちも注意して見ていました。そのときもちょうど主人が危ないよということで注意をしたのですけれども、あまり響いていなかったのか、取りあえず下りて手に持って戻っていかれました。結構交通量が多く、交差点もあるので、昔から道路では遊んではいけないというのを学校でも指導してきたかと思うのですけれども、もし可能であれば、今後、冬休みの注意をする際とか、プリントを出す際とかに、学校にてご指導をお願いできたらと思うのですけれども、願えますでしょうか。

以上です。

教育長

スケートボードで遊ぶ子が、田原地区のほうでもやはり夏ぐらいからよくあって、やる場所の問題が今あちこちで話題になっております。もちろん安全指導を学校のほうでもやるようにしていけないといけないと思うのですが、小中学生だけではなくて、高校生ぐらいの子たちも、あちこちでそういうことがあるということで、市のほうでもそういった子たちが、活動できる場所を何とかできないだろうかということで、まだ具体的にそういったものをつくるというところまできちんとした話をしているわけではないですが、話題にはなっていますので。安全ということであると、学校現場のほうで、また伝えさせていただきます。

それでは、金田委員お願いします。

金田委員

10月26日の学校訪問で、午前中に神戸小学校、昼から大草小学校に

行ってまいりました。

一言でいうと非常に内容のある学校訪問で、充実した1日だったなと自分はそう感じました。

午前中の神戸小学校では、校長先生が学校のありのままの姿を見てもらったというように、様々な問題や課題を見させていただきました。そういったことに対して、学校教育課の専門の先生方が、的確な指導だったり、アドバイスをされていて、そういったことをまた課題にしてももらったりだとか、あと必要とあれば教育委員会のほうで支援などをさせていただいて、この学校訪問を境に教育環境が変われば、この学校訪問の意味が大きなものになるのではないかなと感じさせていただきました。

また、課題ばかりではなくて努力されている部分もありまして、校長室には地元の支えになってくれている人の写真がいくつも貼ってあって、そういった人の写真の下に名前が書いてあって、地域の名前を覚えよう、信頼関係を築き上げようという、そういった姿勢も見られました。

それとあと一番心に残った言葉というのが、養護教諭の先生の言葉で、表面化されていないストレスの蓄積があるとそのようにおっしゃっていました。養護教諭、保健室の先生というのは、けがや病気だけでなく、心のケアもしてくれているのだなというのが伝わってきました。またこの表面化されていないストレスの蓄積というのは、子どもだけでなく、自分たち全ての人に共通する言葉なのかなとそのように感じました。

昼からの大草小学校ですけれども、大草小学校はいつ、どういった形で行っても、安定している学校だなというのをまず感じさせていただきました。2年生の授業で、担任の先生が新人の2年目の先生で、教室から体育館に場所を差し替えてくださいという形で、体育館に案内されました。授業を見たら、体育館いっぱい5人ぐらいのグループ分けがされていて、床いっぱいを使って授業されているのを見て、やっぱりこれは教室ではなくて体育館にしたほうが的確だったな、2年目の先生なのに、大胆な行動ができたのがすばらしいと思いました。

また、音楽室ではベテランの先生が段差になっているところをうまく利用して、先生に注目できるように授業を受けさせている姿は、ベテランならではだなと思いました。

大草小学校は決して新しい学校ではないですけれども、こういった施設を有意義に上手に使うということが、校舎を自分の働いている舞台をフル活用していて、すばらしいことだなというのを感じさせていただきました。

あと久々に諸帳簿一覧というのを見させてもらったのですけれども、2年前に見たときよりも、前は他の学校でしたが、資料が少なく

なっているような印象を受けました。校務支援システムが役に立ったのか分からないですけど、いいことだと思いました。

また、一番目についたのが、出勤簿を見たときに、残業とかいろいろ書いてあったのですが、2年ぐらい前に育休から上がってきた先生が7時45分から出勤で、5時ぐらいまで働いているのですけれども、その出勤の体制を見たときに、家族の支えがあるのか、本人が努力しているのか、育児は夫婦でも、女性に負担がいつているのかなとか、いろいろな想像をしながら見させていただきました。

あと最後に、学校経営案を見させてもらったのですけれども、学校経営案は、僕にとっては、新しい先生と会う前に少し読んでいくと、知った上で話すということで、相手に対して敬える、敬意を持って接することができるので、あそこまで厚くなくてもいいので、教育目標だったり、学校の組織ぐらまでの、そういった資料があればうれしいなと思いました。

また、ここにいる皆様方の、今後の事業だったり、そういった話を1年間に1回ぐらいは聞かせてもらう機会があれば、また親密になれるのかなと、そんなふうに感じさせていただきました。

自分からは以上です。

ありがとうございました。

続いて、太田委員お願いします。

私は10月21日に、午前中に赤羽根小学校、午後に高松小学校のほうへ学校訪問。それから翌日には、六連小学校の研究発表会のほうに出させていただきました。

赤羽根小学校は、私の母校でもありますし、本当に家のすぐ横の学校ですので、何かと学校の様子が伝わってくるわけですが、校長先生の学校経営の思いがとてもよく出ているなどと思いました。

授業を見させていただきましたけど、全学級、岡崎市の連尺小学校のモデルを取り入れた、算数のおもしろさを授業の中で子ども達が学習に生かしていくというそんな取り組みをしておりました。

指導案等、とても学校全体が統一步調で取り組んでいるなどということがよく伝わってきましたが、子ども達が生き生きと活動しているなどという部分は、まだこれから研究の積み重ねによって出てくるのかなと思いました。まだ子ども達は、やや発言も弱かったり、活動も少なかったように思いました。今後の研究が期待されます。

新型コロナウイルス対策についても、特別赤羽根小学校が何かやっているということはありませんけど、全体的によく配慮がされておりました。

それから高松小学校は、3年間の研究の初年度で、主体的対話的な学びの実現に向けた授業改善ということで、今日的な課題に正面から取り組んでいるということがありました。学校訪問の中では、研究に

教育長

太田委員

ついて理論的なものは、まだまだ初年度ですし、こういった新型コロナウイルスの関係で進んでおりませんが、授業の様子を見ると、子ども達が、本当に生き生きと授業に臨んでいるなという、テーマにかなりせまってきたというのを感じました。あとは、理論的な部分で、教職員が同一步調で進んでいけば、よりよい研究になっていくのではないかなというように思いました。

高松小学校も、アクリル板などを取り入れたりして、新型コロナウイルスについては、対応できておりました。

両校とも比較的小規模的な学校ですし、赤羽根小学校の場合は多分市内では一番同窓会活動が活発で、特に教頭先生の負担が多い学校ではないかなと思います。

それから、小学校はどこも地域とのつながりが深いわけですが、高松小学校は、特に地域の自治会組織と学校との関係が、密接な学校だかなと思います。

両校とも、こういったコロナの時期にいろいろ連携することもすごく大事ですが、先ほど教育長が言われましたように、目的を明確にして、ただ、慣例で今までやってきたからというような、そういうものではなくて、少しスリムにしていったほうがいいんじゃないかなということ、両校とも感じて、最後の講評の中で述べさせていただきました。

それから六連小学校は、新型コロナウイルスの関係で、少し変則的な研究発表でしたが、研究発表、それから横浜国立大学の倉本先生のお話で、研究の中身がとてもよく伝わってきて、素晴らしい研究をしてきたかなと思いました。学習指導案、それから資料集も、あーいった資料集は、ほかの学校ではなかなか活用しないことが多いですけど、とてもよく上手にまとめられていて、六連小学校の研究でつくってきたものを、ぜひ市内へ広げていけたらなということ、各学校からお二人ずつしか参加できなかったし、授業の様子を見ることもできなかったわけですが、今回参加された先生方が各学校で、六連小学校の研究を、伝達して広げていくことができれば、市全体にレベルアップしますし、六連小学校の研究が生きていくのではないかなと思いました。インターネットだとか、映像だとか、そういったものも活用すれば、今回の研究したことが、各学校に生かされていくのではないかなということ、各学校に生かされていくのではないかなということを感じました。

教育長が最初のお話の中で、六連小学校だけではなくて、亀山小学校についての研究についても紹介されていたこと、あるいは、課長さんがこの六連の研究についていろいろ工夫されたことについても、研究された先生方あるいは、携わった方々には、とても力になったようなそういうお話だったのではないかなということを感じました。

以上です。

教育長

高崎委員

ありがとうございました。

次に、高崎委員お願いします。

私は、10月29日に衣笠小学校に訪問させていただきました。

衣笠地域に住んでいることもありますし、3人の子ども達も同窓生で、主人がPTA会長とか、私も地域の役とかいろいろ努めさせていただいた経験を踏まえ、お邪魔させていただきました。ちょうどうちの子供達が通っていた頃のファイルを、校長先生からいただきまして、懐かしく拝見いたしました。小学校の校門をくぐるときに山が見えて、そして、広い運動場で、何てすてきな環境で過ごさせていただけるんだろうという期待に胸を膨らませて、親として初めて登校させていただいた日が、よみがえってまいりました。

一番最初に校長先生から、お子さんたちが学校に行きたくないという事のないよう、学校に来たくて仕方がない、そして、やりがいを持って生活ができるよう、こうしたことを目標にしておりますというようなお言葉をいただきました。

管理職の先生方は、校長先生がとてもお熱い方で、教頭先生はとても温かいアットホームな女性でいらっしゃり、4役の先生が男の先生がお二人、女の先生がお二人で、とてもバランスよく配置されていらっしゃるなどお見受けいたしました。そして、校長室で学校教育課長さんもおっしゃっていましたが、残業について、残業を1時間でも早く少なくなるといいねというようなことをおっしゃっていたのですが、いろいろお話を伺っていて、ご努力をされている様子でした。また、毎朝校長先生は、先生方がいらっしゃる様子を、必ず校長室の中から見ているというようなことをおっしゃっていました。

先生方がとても個性的な授業をしていらして、校長先生の緻密な言葉がけだったり、ご配慮だったり、普通で考えると上の方が見ていらっしゃると、委縮してしまうこともあると思うのですが、先生方がそれぞれ個性を発揮されて、とてもおもしろい授業をされていらっしゃったので、緻密ではいらっしゃるけれども、皆さんが委縮されないということが大事だということを感じました。

それから、学習面においてですけれど、読むこと、書くこと、聞くことを大事にされているということをお伺いしました。

英語の授業については、イランに3年いらっしゃった先生が、たくさんの英語のカードを黒板に貼って、とても上手に、お子さんが興味を持つように、英語の授業をされていました。それから6年生では、ちょうどハロウィンだったので、ALTがピカチュウの衣装を着ていて、子ども達の興味を引くようにされていたことが、とても印象的でした。

あと、朝の時間に漢字をされているということで、やはり読み、書き、そろばんというのは、時代が変わっても大事な事なんだなとい

うことを思いました。

板書については、旧式なクラシックなやり方をされていらっしゃる先生とか、あと六連小学校の先生のように、とても掲示物を上手に使って、お子さんの集中力が欠くことがないようにされていらっしゃる先生とか、様々でいらっしゃいました。

拝見して毎回思うのは、こうして効率よく授業をこなすためには、先生方の残業につながることもなるのだなという、その上手な時間の使い方というのが大事だなということを思いました。

最後に、給食でございますけれども、給食がとてもおいしくて、こうしたほどよい、濃すぎない味付けで、煮物も細かく切っており、それから、あえ物も緑黄色野菜やもやしとか、上手にいろいろな栄養素が含まれていて、もうこの1食で極端な話、必要な栄養素がほとんど取れてしまうのではないかという配慮にとっても感心いたしました。

コロナ禍でございますけれども、衣笠地域というのは、地域の皆様のボランティアの参加というのがとてもありまして、消毒支援の案内が地域の案内板にあったりですとか、ご年輩の方たちのご協力というのがすごく、やはり校区に3つの住宅がありますので、こうしたご年輩の方の、地域への協力がとても盛んな地域であるので、やはりお子さんの精神的な不安定さを取り除くにも、こうした地域の方のご協力は大事だなということを感じいたしました。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

次に報告事項（2）小学校への寄附について、事務局から報告をお願いします。

教育総務課長

令和2年度教育関係小中学校寄附一覧をご覧ください。

本日の報告については、7番と8番です。

まず7番ですが、先ほども補正予算の際に説明させていただきましたが、10月21日に地元の方から赤羽根小学校に対しまして、食育推進のため10万円の現金の寄附がございました。これを12月の補正で対応させていただきます。

もう1点8番ですが、翌日10月22日に、キッズ作文教室 o m o i o 代表の岡田さんから市内の小中学校へ、子どもの挑戦の応援のためということで、書籍を寄附いただいております。相当額については、6万720円です。「風船で宇宙を見たい！やってみることから開ける無限の未来」と、「おもしろくてためにならない！へんてこりんな地球図鑑」という書籍で、各23冊いただきまして、既に学校のほうにはお届けをさせていただいております。2件の寄附がございました。

以上です。

教育長

ただいまの事務局の説明について、何かご質問ありますでしょうか。では、次に（3）令和3年度小中学校入学式等儀式の実施日について

学校教育課長

て、事務局から説明をお願いします。

お願いします。お手元の資料は、11月2日付で各小中学校長宛てに配布した書類になります。

来年度の入学式、卒業式等の日程を入れましたので、またどなたかから問い合わせ等があれば、こちらの情報をお伝えいただいて結構でございます。

ご留意いただきたいのは、例えば小学校は、4月6日が入学式、それから、始業式も同日というような形になっておりますが、年々学校の状況に応じて、例えば、入学式と始業式を分けて行うというような運用上の変更もございますので、これについては全ての学校が、この日という区分けではございませんので、ご注意をいただければと思います。

以上です。

教育長

豊橋市と豊川市は、4月6日にオリンピックの聖火リレーができれば行われるということで、4月6日より1日ずらしの4月7日が小学校の入学式というようになるようであります。

この件につきまして、何かご質問はございますでしょうか。

では、次に（4）図書館雑誌スポンサー制度について、事務局から報告をお願いします。

中央図書館長

図書館です、失礼します。

資料をご覧ください。田原市図書館雑誌スポンサー募集要項がっていますが、1枚はねていただきまして、チラシがございますので、こちらで説明させていただきます。

図書館雑誌のスポンサー制度というのを開始することになりまして、今週火曜日から募集が始まっております。図書館は、中央図書館、渥美図書館、赤羽根図書館、それぞれで雑誌を購入しているのですが、今回雑誌の購入代金相当額を、会社とか商店、団体さんなどに負担していただきまして、図書館で持っている雑誌の最新号には、カバーをつけておりまして、最新号は貸出しができませんようになっていますので、その雑誌の表面と裏面、それから雑誌を持っていった後の雑誌の棚のところにも広告が掲載されるようになっております。雑誌も400タイトルぐらいありまして、その中から選んでいただく形になります。PRができますので、もしご協力いただけそうなところがありましたら、紹介いただければと思います。よろしくをお願いします。

額は、雑誌代相当額になっていまして、今回年度の途中からなので1月、2月、3月分の雑誌の購入費相当額になります。例えば、この「農耕と園芸」ですと、月に1回発売されていまして、1冊当たり1,000円ぐらいなので、3ヶ月で3,000円ぐらいという形です。

よろしくをお願いします。

教育長

ただいまの説明につきまして、何かご質問がありますでしょうか。

よろしいでしょうかね。

では、ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長
教育総務課長

次にその他ですが、事務局から何かございますか。

教育委員さん方の出席日程案をご覧ください。

11月24日の火曜日に、和食の日給食試食会ということで、設楽町産のニジマスを使用した給食の試食会を、給食センターで行います。先に給食センターの中を見学していただいてから、試食をしていただく予定です。

来月の定例会については、12月18日金曜日、15時30分開始予定です。

それから、12月25日に総合教育会議というものを予定しております。市長が入っての会議となります。内容については、教育大綱の改定の関係、それから社会教育施設の個別計画等の計画を策定していきますので、その辺りが中心になろうかと思えます。また、詳しくは次回の定例会でお伝えをさせていただきます。

あとは、各イベントが下に記載されておりますのでご確認ください。

スポーツ課長

スポーツ課からお願いします。11月15日に、中部実業団対抗駅伝競走大会があります。今回の大会は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けまして、沿道での観戦をご遠慮というかたちでございますので、例えば、家の前であれば、少し見ていただくなりして感想などいただければと思います。特にご案内はしませんけれどもそういった形でよろしくをお願いします。

あと、インターネット配信をしますので、そちらのほうで見ていただければと思います。

なにぶん成功させたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

文化財課長

文化財課です。博物館のほうでは、ふるさとの歴史展を11月いっぱい行っておりますので、ぜひご来館いただいて、見ていただければと思います。テーマを絞って、この田原市の歴史というものをご覧いただくようになっていますので、非常にテーマごとに見やすく、分かりやすく展示したつもりですので、ぜひご覧いただいてまた、ご意見等いただければと思います。

よろしくお願いいたします。

生涯学習課長

生涯学習課です。最後のページにチラシがございますので、ご覧ください。

こちらは、田原人権ファンクション委員会が企画します講演会でございます。これは毎年10月ぐらいにやっているのですが、人権に関する週間というのが12月でございますので、今年はそれにちなんで12月という格好で開催したいと思っております。

12月6日の日曜日、13時30分から田原文化会館文化ホールにおいて開催されます。講師の方は、教育実践研究者であられる菊池省三氏を

お招きして、「言葉で人が育つ。一人一人が輝くほめ言葉シャワー」と題して、ご講演いただく予定であります。

広報には11月号に既に掲載していると同時に、市のホームページ、さらには小中学校、社会福祉協議会のほうにもご案内のほうをしてございます。今のところですけども、入場者数につきましては、一応100%以内という格好にはなっておりますけれども、開催も含めて非常事態宣言が出なければやりたいと思っておりますので、またぜひ皆さん、お時間、ご都合がつくようでしたら、ご出席いただきたいと思います。

以上です。

これまでの件についてよろしいでしょうか。

そのほか、事務局ありますでしょうか。

ございません。

それでは、ないようですので、以上で本日の議事は全て終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

これをもちまして田原市教育委員会第11回定例会を閉会とさせていただきます。

ありがとうございました。

閉 会 午後2時40分

(会議録署名人)

教育長

委員

委員

教育長

教育総務課長

教育長